

追加開催

## 「働き方改革」実行“応援”セミナー

6

経営者、現場管理者、人事担当者、総務ご担当の皆さま向け

—— 働き方改革の本質は管理会計にあり ——

## 働き方改革時代に求められる管理会計



開催日：2020年3月5日(木) 10:00~17:00

会場：大阪銀行協会 別館3階(11号室)

講師：南公認会計士事務所  
公認会計士、税理士、  
日本証券アナリスト協会検定会員みなみ とし き  
南 俊 基 氏

略歴：

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科終了。監査法人トーマツ入所し、財務調査を中心に会社更生法監査、事業再編等の業務に従事。ソニー㈱の戦略コンサルティング子会社にて、ソニーグループの知的財産権評価、原価管理構築体制の支援等に従事。パイオベンチャーであるテラ㈱にて、創業期から役員を務める。財務省理財局にて財政投融资の調査業務に従事。現在は南公認会計士事務所の所長として、メーカー、小売業、システム会社等に対して、事業計画の作成支援、財務戦略、原価管理体制の構築支援等を提供。

&lt;著書&gt;

「6W3Hでわかる決算書入門」、「書いて身につく会社分析ドリル」いずれも日本経済新聞出版社刊がある。

## ◆特色

日本人の長時間労働が美徳という考え方が、過労死や病気の発生といった悲劇的な結末を産み「働き方改革」の導入が喫緊の課題とされてきました。その先鞭として、時間外労働の上限規制、年次有給休暇の義務化、勤務間インターバル制度の普及促進等といった働き方改革が2019年4月より導入されました。ようやく日本も国際的な働き方に向けて舵を切り始めたと言われております。長時間労働が美徳とされた価値観により終止符がうたれたのです。

しかし、労働時間を短縮しただけでは中長期的に見ると会社の業績は落ちる一方になってしまいます。もちろん働き方改革の導入はすぐにやらなければなりません、あわせて「管理会計を用いた生産性の向上」をする必要があります。「効率よく仕事をして定時で帰ろう。」という考えのもと、できるだけ生産性を上げて、業績を落とさずに時間を上手く使っていくことがポイントです。本講座では、生産性の向上のカギとなる管理会計の視点を身に付けていただきます。

## ◆カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

## 1. 生産性の向上の必要性

- (1) 働き方改革の本質とは
  - (2) 効率よく仕事を行い定時で帰ることはよい事
  - (3) 時間は足りないものではない、ねん出するもの
- 【事例研究1】働き方改革で求められること

## 2. 管理会計の基本

- (1) 管理会計と財務会計はどう違うのか
- (2) 財務会計と管理会計のアプローチの違い
- (3) 管理会計はなぜ必要か？  
(財務分析だけではなく、コストの削減までを考えた企業管理)
- (4) 管理会計導入の手順  
【事例研究2】コストの上昇は決算書にどのような影響を与えるのか  
【事例研究3】価格の変化、数量の変化は決算書にどのような影響を与えるのか
- (5) 決算書のコスト分類と管理会計のコスト分類
- (6) 管理会計の基本 コストのブレイクダウン  
管理会計の基本式：価格×数量

## 【事例研究4】売上のブレイクダウン

- 【事例研究5】コストのブレイクダウン
- (7) コストの変動費と固定費の分解  
(変動費と固定費に分解すると何がわかるのか)

## 【事例研究6】変動費と固定費の分解

- (8) 損益分岐点分析～収支トントンのラインを探る
  - (9) 目標利益を達成するために必要な売上高は
- 【事例研究7】損益分岐点分析

- (10) 「ムダ」の分析  
管理会計の基本式：目標値－実績値＝ムダ
- (11) 「ムダ」の原因分析  
ムダの原因をブレイクダウンしていく

## 3. 生産性の向上は本質的な原因を探ること

- 【事例研究8】A社の残業時間増加の原因は働き方改革を実施しているA社が直面した残業時間の増加、意外な原因とは
  - (1) 単価×数量で思考する
  - (2) 単価の削減と数量の削減アプローチは違う
  - (3) 消費量、作業時間を短縮するための知恵とは
- 【事例研究9】外注費は働き方改革に役立つのか
- (4) 外注費をめぐる意外な考え方
  - (5) 関連原価と埋没原価

## 4. 業務プロセスの再評価

- (1) 業務の流れの把握と業務フローの作成
- (2) 業務フローから見えてくる会社の問題点  
【事例研究10】A社の業務フローの作成
- (3) 業務フロー作成のポイントと問題点抽出シート

## 5. 業務の棚卸の実施

- (1) 業務の棚卸で業務範囲を再確認
- (2) 2重処理、不必要な処理といったムダをあぶりだす
- (3) 承認フローの再確認  
【事例研究11】A社の業務の棚卸

## 6. 働き方改革の評価はどのように行うのか

- (1) 現状のKPIの把握と利用状況の確認
- (2) 業務の効率をどのような尺度で計るべきか
- (3) 業務効率化は関連原価で効果を測る
- (4) 誤った業務の効率化はこのような事例から生じる
- (5) 業務の効率化の効果を継続させるためには

～必ず電卓をお持ちください～

**参加申込書** ( 個人情報の取り扱いに関して、私は貴社の「個人情報に関する利用目的」を確認、同意の上、申込みます。 )

受講料：会員…24,200円 一般…31,900円

(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

URL <https://www.rrl.co.jp/seminar/index.html>

3/5(木) 働き方改革時代に求められる管理会計

【FAX. 06-6258-8863 リそな総合研究所 行】

貴社名				区分	MS・会員・一般	会員番号	
受講票送付先	〒			連絡担当者	部署・役職		
					ふりがな		
					氏名		
業種(具体的に記入してください)					E-Mail		
TEL	( )	FAX	( )	取引店	支店		
参加者 ( )内にふりがなをご記入ください。	氏名	( )	部署	役職			
	氏名	( )	部署	役職			
	氏名	( )	部署	役職			
当社使用欄	替 / 振 (会・個)	入力日 /	発送日 /	受講料	円	作成日 /	発送日 / 同・別

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。【お問い合わせ先】  
一般の方：受講票とともに請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。 06-6258-8806  
\*キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。 研修担当(Ⓜ)